

特別講演会 次の時代を拓く起業家の話を聴け!

一橋で過ごすということ ～起業家の視点から～

佐々木 大輔氏 freee株式会社代表取締役



日経ビジネス 2013年日本のイノベーター30人
2014年日本の主役100人
2016 Forbes JAPAN 日本の起業家BEST10に選出。

全自動のクラウド会計ソフト「freee(フリー)」を運営するfreee株式会社の代表取締役。学生時代より、インターネットリサーチ会社インタースコープ（現在は合併を経てマクロミル）にて新しい調査手法の開発に従事。卒業後は博報堂を経て、未上場株の投資ファンドであるCLSAキャピタルパートナーズに参画し投資アナリストとして勤務。そして国内のレコメンドエンジンのスタートアップであるALBERTにてCFOをつとめる傍ら、新規レコメンドエンジンの開発を担当。この後、Googleに入社。Googleでは、日本およびアジア・パシフィック地域での中小企業向けのマーケティングチームを統括し、同地域での中小企業におけるオンライン広告プロダクトの浸透に大きな実績を残した。2012年7月freee株式会社を設立し、新しいクラウド会計ソフトの開発を開始。一橋大学商学部卒。専攻はデータサイエンス。

日時

2017.5.11 [木]
17:10~18:30 途中入室可

会場

国立東キャンパス
東1号館1101教室

事前申込不要・入場無料 どなたでも聴講可



プレエントリー受付

もうすぐ開始!!

受付期間 5月1日(月)~5月31日(水)

プレエントリーはこちら→



エントリー期間 6月1日(木)~6月30日(金)応募申請書、企画書の提出

※エントリーにはまずプレエントリーが必要です。

主催・お問い合わせ



一橋大学学生ビジネスプランコンテスト学生事務局
mail:hit.businesscontest@gmail.com

What is ビジコン？

一橋大学学生ビジネスプランコンテスト(通称：ビジコン)は、起業を目指す一橋大学生を応援するコンテストです。あなたのビジネスプランについて、起業家・実務家の方やビジネスを専門とする教員からアドバイスをいただけるチャンスです。あなたの考える新しいビジネスプランをお待ちしております！

主 催 : 一橋大学
協 力 : 株式会社JOUJU*1
企画・運営: 一橋大学学生ビジネスプランコンテスト学生事務局

●第8回一橋大学学生ビジネスプランコンテスト(2次審査)

日時: 10月21日(土) 13時開始(予定)

場所: 国立西キャンパス インテリジェントホール

(1次審査は書類選考)

●賞金

最優秀賞(1件) 15万円+ハノイ貿易大学*2への渡航費(原則3名まで)

優秀賞(2件) 5万円

メリット1

専門家によるビジネスプランのブラッシュアップの機会が与えられる！
(1次審査通過者)



※イメージ

メリット2

ハノイ貿易大学で行うプレゼン(英語)に向けて外国人教師から指導が受けられる！
(最優秀賞受賞者)



メリット3

海外渡航の機会が与えられる！
ハノイ貿易大学の学生たちと交流できる。
(最優秀賞受賞者)



*1 株式会社JOUJU(<http://jouju.co.jp/>)は、若い人材の起業家精神を育成する事を目的に、本学以外にも東京大学、慶応大学などアジアを代表する大学へ寄付をされています。また、ハノイ貿易大学においても株式会社JOUJUのご支援により、本コンテストと同様のビジネスプランコンテストが行われています。

*2 ハノイ貿易大学はベトナムの最難関大学のひとつであり、実学志向が強いことから、日本企業の間ではベトナムの一橋大学と呼ばれています。ベトナムは近年経済成長が目覚ましく、21世紀において日本の重要なパートナーになると考えられています。大学生の学習意欲は旺盛で、エネルギーが豊富です。

詳しくは4ページの募集要項又は

http://www.hit-u.ac.jp/extramural/bussi_con/8th/notice.htmlをご覧ください！

第7回最優秀賞受賞者に聞く！

第7回一橋大学ビジネスプランコンテストでは「サラリーマンのonとoffの場所」の提供をコンセプトに据えた「Switch Spot」が最優秀賞に選ばれました。その後、メンバーの辻佳奈子さん（商3）・成田陽一さん（商3）・後藤航己さん（商3）は3日間にわたってベトナムを訪問し、ハノイ貿易大学の学生とお互いのビジネスプランをプレゼンテーションするなどの交流を行いました。そこで今回はハノイから帰国したメンバーに、ビジコンやハノイ渡航に関して率直な感想を聞いてみました！

※学部学年は、2次審査2016年10月2日時点のものです。

--ビジコンにエントリーしたきっかけを教えてください。

成田さん メンバーは全員清水先生のゼミに所属していて、今回は先生から参加を促されたためエントリーしました。ビジコンの存在自体は入学前から知っていて、入学したらやってみたくて思っていました。

辻さん 1年生の時に友人に誘われてエントリーして以来なので、2回目のエントリーでした。1年生の時は1次の書類審査で落ちちゃったんですけど...（笑）

後藤さん 僕は清水先生に言われてビジコンのことを知って、今回初めてエントリーしました。

--実際に参加してみて、どんなことを感じましたか。

成田さん 2次審査でのプレゼンテーションはとても緊張しました。起業家の方から鋭い質問がたくさん飛んでくるし...でも発表が終わった後、ある審査員の方が隣の方に「このプランいいね」とボソッとおっしゃっていたのが聞こえて、すごく嬉しかったです。

辻さん 2次審査は緊張したけど楽しかったです。聞きながら聞いてくださる審査員の方もいて、**起業家の方に自分たちが考えたビジネスプランを売り込むという、貴重な経験をさせてもらいました。**

後藤さん 留学のため1次審査までしか参加できなかったのですが、自由度が高い中でビジネスプランをきっちり考えることに難しさを感じました。一方で、ゼロから考える機会は案外ないので良い経験になったと思います。

--ハノイでのプレゼンテーションはどうでしたか

成田さん 英語が得意ではないので、正直英語のプレゼンテーションは重荷に感じていました。しかし**渡航前に大学で事前指導を受けることができ、とても助かりました。日本語と英語でプレゼンテーションの仕方に違いがあることも分かり、やってよかった**と思います。

辻さん ベトナムの学生にとっても英語は第二言語になるので、自分の言ったことが相手に伝わっているか確認しながら話を進めるように心がけました。最後にベトナム版「Switch Spot」を紹介したのですが、現地の学生は喜んで聞いてくれました。

後藤さん 非常に歓迎してもらって、良い経験になりました。ただ、自分が日本にいなかったこともあり、自身としてもチームとしてももっと練度を上げられたなという思いが多少。しかし大きな失敗もなく、無事に終わられたのでよかったです。

--その他にハノイ渡航を通じて感じたことはありますか。

成田さん ベトナムは日本より発展していないイメージを持っていましたが、今回の研修でその先入観が取り払われました。携帯アプリから今いる場所にハイヤーを呼ぶことができるUBERという配車サービスが発達していたし、ベトナムの学生はビジネスに対する意識がとても高かったです。彼らはすでにビジネスとして取り組み始めているものをプレゼンテーションしてくれました。

辻さん プレゼンテーション自体は初日に終わってしまったのですが、その後も現地の学生と密な交流を行うことができました。授業後に遊びに来てくれたり、バイクに乗せてもらったり...規定されている時間以上に交流することができ、嬉しかったです。

後藤さん 研修の中で、如水会の方々の仕事のお話を拝聴する機会があり、**ベトナム経済の第一線で活躍されている方の声を聴けた**のが良い勉強になりました。東南アジア諸国の経済政策的な違いについて理解が深まりました。

--最後に、一橋生にコメントをお願いします。

成田さん 一橋の授業は理論中心のものが多いように思います。理論を学んで終わりにせず、それを活用してみませんか？**ビジネスプランを考えることは、理論と実践のいい循環になります。**この理論はこうやって使うんだ！っていう発見があって面白いですよ！

辻さん 私も最初はビジコンに対してお堅く敷居が高いイメージを持っていましたが、そんなことはありません！**ふと思いついたアイデアがビジネスプランになることもあるし、メンバーと試行錯誤してプランを練り上げるのは楽しかった**です。「なんだかわかんないけどとりあえずやってみる」っていうのもいい経験になると思います。ぜひ気軽に参加してみてください！

後藤さん アジアに目を向けましょう。他の大学に比べて一橋は東南アジアへの進出が遅れています。一方で多くの先輩がアジア諸国の第一線で活躍されています。そして、僕らの世代こそアジアで働かなければならなくなっていく世代です。それに、何より**今発展している国の熱気を感じるのには痺れます。**楽しいです。この**ビジコンのチャンスを使わない手はありませんよ！**

メンバーの皆さん、
ありがとうございました！



現地学生との交流



成田さん（左）と辻さん（右）

第8回一橋大学学生ビジネスプランコンテスト 募集要項

【概要】

新しいアイデアでビジネスに挑戦しようとする一橋大学生を応援するため、株式会社JOUJUの支援を得て行われます。

2次審査に進んだチームには専門家からビジネスプランについて具体的なアドバイスが貰えます。

また、最優秀賞受賞者には、賞金に加え、同様のコンテストが開催されているベトナムのハノイ貿易大学にてプレゼンテーションを行い、現地学生と交流する貴重な機会が与えられます。

【応募資格】

一橋大学に在籍する学部生、大学院生、研究生、交換留学生(個人、チームどちらも可)。代表者を明確にしてください。出場者は全員本学学生である必要があります。また、過去の最優秀賞受賞者、当該個人を含むチームは応募することができません。

【賞】

・最優秀賞(1件)

賞金15万円

ハノイ貿易大学への渡航費用(原則3名まで)

・優秀賞(2件)

賞金5万円

【審査基準】

新規性、社会性、実現可能性、成長性、市場性

【審査の流れ】

・プレエントリー 5月1日(月)～5月31日(水)

プレエントリーの後、応募申請書類をお渡しします。

・エントリー 応募申請書、企画書の提出

6月1日(木)～6月30日(金)

独自のアイデアに基づいたビジネスプランであれば、テーマ等は問いません。企画書はWord形式で、A4用紙10枚以内にまとめたものとし、言語は日本語とします。

・1次審査結果通知 7月24日(月)予定

書類審査を行います。結果は代表者にメールで通知するとともに本学HPに掲載します。選出チーム数は応募状況により変動します。

・1次審査通過プランブラッシュアップ期間

(8月～9月)

1次審査通過チームには、1次審査員からプランについてアドバイスを貰い、改善する機会が与えられます。

・2次審査及び結果発表 10月21日(土)

PowerPointを使用したプレゼンテーションと質疑応答により行います。言語は日本語とします。

審査は4名(予定)の審査員(本学教員、OBを含むビジネスパーソン)により行われます。

審査基準は前掲の5項目に加え、資料も含め効果的にプレゼンテーションが行われたかも審査対象とします。

審査結果は当日発表の他、本学HPに掲載します。また、受賞者の名前、写真などを本学の刊行物に掲載することがあります。

【最優秀賞受賞者】

・ハノイ渡航オリエンテーション(10月下旬)

・英語プレゼンテーション指導(11月)

・ハノイ貿易大学でのプレゼンテーション(12月上旬)

※注意事項 受賞者は、ハノイ貿易大学でのプレゼンテーションを辞退できません。ハノイ貿易大学では、ハノイ貿易大学にて開催される学生ビジネスプランコンテストの優勝チームとプレゼンテーション及び意見交換を英語で行います。懇親会や市内見学など現地交流も行われます。

【その他】

・一人でも、あるいは他チームに加わっても、応募できるプランの件数に一切制限はありません。

・ご提出いただいた個人情報、本コンテスト運営以外の目的には使用されません。

・参加費用はかかりません。ただし応募のための資料作成の費用は自費負担となります。

・(参考)応募数 2016年:15組 2015年:21組

2014年:23組 2013年:21組

いずれも2次審査へは5組が進出

事務局員募集！！ 学生事務局 : hit.businesscontest@gmail.com

ビジコンを運営するのが学生事務局の仕事です。現在、3年生1人、2年生3人の計4人で活動しています。企画や運営、広報に興味のある方はぜひ一緒に活動しましょう！詳しい活動内容を知りたい方はメールをお送りください！